



## 🔍 水虫について

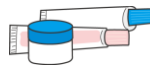
水虫とは、カビの一種である白癬菌が皮膚の角質層に寄生することによって起こる皮膚の病気です。白癬菌は手や体にも感染しますが、9割近くは足です。足に感染しやすい原因は、水虫に感染している人の皮膚から剥がれ落ちる角質の中でも白癬菌は生きていますので、それを別の人が素足で踏んでしまうと、菌が付着して感染してしまいます。

## 🔍 水虫の種類と症状

足の 水虫	趾間型	足の指の間が初めは赤くなり、それから白くふやけて皮が剥けます。むずむずと痒いことが多く、皮を剥くと液が出てグジュグジュします。
	小水疱型	足の裏やふちに小さな水疱ができ、強いかゆみを伴います。水疱は通常2～3mm程度ですが時により大きくなることもあります。
	角質増殖型	足の裏、特にかかとの皮膚がかたく分厚くなり、表面がザラザラになって皮が剥けてきます。ひび割れを生じ、痛みを伴う場合もあります。
爪水虫	白癬菌が爪の中に入り込んで起こります。爪が白～黄白色に濁ったり、分厚くなったり、もろくなったりします。 爪には知覚神経がないため痒みなどの自覚症状はありません。	

## 🔍 水虫の治療

水虫治療の薬には塗り薬と飲み薬があります。



### ・塗り薬

直接患部に塗ることによって、白癬菌を殺したり、その発育を抑えます。

1日1回(薬によっては2回)塗ります。角質が湿って柔らかくなる入浴後がベストです。

**患部だけに限らず範囲を広めに塗り、毎日根気よく塗り続けることが大切です。**



### ・飲み薬

塗り薬が患部に浸透しにくい角質増殖型と爪水虫の場合は、飲み薬で治療することがあります。

主に2種類の薬が使われ、毎日服用するタイプと休薬期間があるタイプがあるので、医師の指示通り服用します。肝臓に負担がかかる可能性があるため、定期的に血液検査をしてチェックします。

最近では新たに爪水虫の塗り薬が登場し、飲み薬での治療が難しい方への選択肢が増えていきます。

病院で処方される薬です。

## 🔍 再発予防のポイント

<1> 毎日、足の指の間の細かいところまで綺麗に洗い、洗った後はよく乾燥させます。

<2> 蒸れやすい革靴などは避け、靴を履きっぱなしにせず脱いでる時間を増やし、靴下は木綿など通気性の良い素材を選ぶようにします。

<3> 家族で水虫の人がいる場合などは、スリッパやバスマット、サンダルなどの共用を避け、部屋をこまめに掃除するようにします。

**水虫**と書いていても実はそうでなかったという場合も多いので、正しい診断が治療の第一歩となります。おかしいな?と思ったらまず皮膚科を受診しましょう。



加地薬局からのお知らせ等がパソコンからご覧になれます。 <http://www.kaji-ph.com/>

QRコード対応携帯の方は右のQRコードを読み取るだけでURLが表示されます。

携帯版 URL <http://www.kaji-ph.com/k/>

